

## 事業概要表（草の根パートナー型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	カンボジア
2. 事業名	地域住民と地方保健行政との協働により実現する住民主体型タイ肝吸虫症予防対策モデルの検討
3. 事業の背景と必要性	タイ肝吸虫症は肝臓がんの発がん性がある寄生虫感染症で、タイ・ラオスでは保健対策が実施されている。しかし、カンボジアでは複数県での流行が確認されているが、これまで国家保健対策等の取組みはなされていない。本症は淡水魚の生食により人に感染する寄生虫症だが、食の嗜好に基づく生活習慣病でもある。効果的な対策を実施するには住民一人一人の理解と意識化、行動変容につながる住民参加型の取組が必要であり有効であると考えられる。
4. プロジェクト目標	住民がタイ肝吸虫症感染のリスクを知り、自分たちの健康を守るための活動モデルを開発し、住民が中心となって実施できる。
5. 対象地域	淡水魚生食習慣のある地域 2 州（コンポンチャム州、プレイベン州）の 5 村
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	直接受益者：プロジェクト実施地域の住民（学校教職員・生徒含む） 間接受益者：プロジェクト実施地域を管轄する地方保健行政と保健省
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;モデル地域において以下のことが実現する：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 住民が自分たちの感染実態を知り、健康リスクに気づく</li> <li>2. 住民が自分たちで実施可能な予防計画案を考えることができる</li> <li>3. 住民が予防活動を継続的かつ自律的に実施するための方法が検討される</li> <li>4. 住民と保健行政が協働し予防活動に継続的に取り組める</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分の実態を知るために実施する参加型アクションリサーチ</li> <li>2. 結果の共有と問題点の理解：「みんなで共有する私たちの村の結果と問題点」</li> <li>3. 住民会議：「どうしたら予防できる？家族の健康を守れる？」</li> <li>4. 「みんなが実施できる」予防計画案作成</li> <li>5. 住民と保健行政は「一緒に活動し、一緒に考える」仲間となるための協力体制づくり</li> <li>6. 予防計画案の実施</li> <li>7. 住民中心で実施する予防活動モデルの提示と継続実施</li> <li>8. 自律して活動するモデル・ボランティアと保健行政スタッフ育成</li> </ol>
8. 実施期間	2018 年 2 月～2021 年 6 月（3 年 5 ヶ月）
9. 事業費概算額	73,825 千円
10. 事業の実施体制	カンボジア国立マラリアセンターおよび地方保健行政（県保健局/郡地域保健事務所/保健センター）、農民主体による住民組織（CEDAC 農民協会など）メンバーや住民ボランティア、日本人研究者の 3 者による協働事業として実施
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人山梨大学
2. 活動内容	大学教育・研究